

EUREKA	超小型衛星観測データの活用 —太陽軟X線分光観測 MinXSS で迫るフレア粒子加速機構— 長澤俊作・川手朋子・成影典之・高橋忠幸・Amir Caspi	416
	超小型衛星に魅せられて —HaloSat を用いた銀河面／円盤領域の軟X線背景放射の謎に迫る— 三石郁之・安福千貴・作田皓基	425
	磁気流体数値実験で探る恒星コロナ加熱 鷲ノ上遥香	434
天球儀	タイ国立天文学研究所 NARIT が進める電波天文学・測地学プロジェクト 杉山孝一郎	442
	東アジアにおける新しい掩蔽観測グループの結成 (IOTA/EA) 吉田二美・早水勉	449
シリーズ：2040年代のスペース天文学へ	精密編隊飛行が切り拓く新しい天文学 松尾太郎・和泉究	458
雑 報	日本天文学会早川幸男基金による渡航報告書 <i>Formation, Evolution and Signatures of Supermassive Stars</i> 木村和貴	464
	日本天文学会早川幸男基金による渡航報告書 <i>Machine Learning and the Physical Sciences, NeurIPS 2023</i> 岩崎大希	465
寄贈図書リスト		468
月報だより		468

【表紙画像説明】

超小型衛星 HaloSat と MinXSS が国際宇宙ステーションから放出されたときの様子。一度に二機ずつ放出されている。HaloSat と MinXSS はどちらも軟X線検出器を搭載した理学観測ミッションであり、大きさは各々 6U および 3U サイズである。1U は CubeSat (キューブサット) 規格で 10 cm×10 cm×10 cm の立方体サイズ 1 個分に対応する。例えば 6U, 3U は各々 6, 3 個分のサイズに相当する。(どちらも写真は NASA 提供)